

金山町 議会だより

第201号

平成30年5月15日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



吉野復興大臣に只見線支援（奥会津の観光振興）の要望をする

五ノ井議長（奥会津五町村議会議長連絡協議会会長）。

菅家一郎衆議院議員、只見町・昭和村・三島町・柳津町議長が同席（最終頁参照）

〔3月定例会のあらまし 会期／3月9日～15日〕

（ページ）

3月定例会 平成30年度当初予算を可決（一部凍結）… 2～5

議案等審議結果一覧、抗議文 …… 6～7

一般質問に8人登壇 …… 8～15

前年比8,641万円(3.0%)増

09万円を可決

3月 定例会



「全員賛成」で採決(起立)した平成30年度一般会計予算

3月定例会は、3月9日から15日にかけて開催され、平成30年度当初予算など27議案が提案され原案どおり可決されました。平成30年度一般会計予算は、歳入歳出とも29億6309万円で、前年度比8641万円の増となっています。町営住宅建設事業など7事業については引き続き協議をすることになりました。一般質問には8人の議員が登壇し、町政をたどしました。

一般会計の概要

平成30年度一般会計当初予算は29億6309万円で、前年度と比較して8641万円(3.0%増)となっています。臨時職員の待遇改善に伴う人件費の伸びや各種負担金の増によるものです。

地方交付税の減 基金取り崩しの増

前年度と比べ、町税は、大規模償却資産に係る固定資産税等が微増したため480万円の増。発電事業者の設備更新が引き続き行なわれたため増額となりました。地方交付税は、全国的に減少傾向のため3900万円減(3.0%減)となりました。財源補てんの基金の取り崩しは昨年度と比

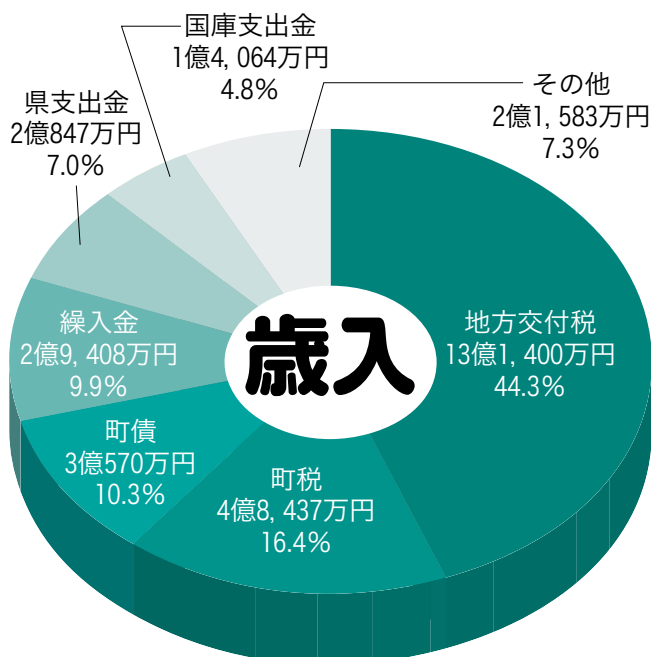
べ8010万円増の2億9300万円となりました。

川口駅前消雪整備 6600万円

歳出の内、投資的事業は、川口駅前線消雪設備事業6600万円(30年度整備分)等です(主な投資的事業参照)。その他として川口高校存続事業に1億1232万円、道路除雪事業に1億206万円等があります。

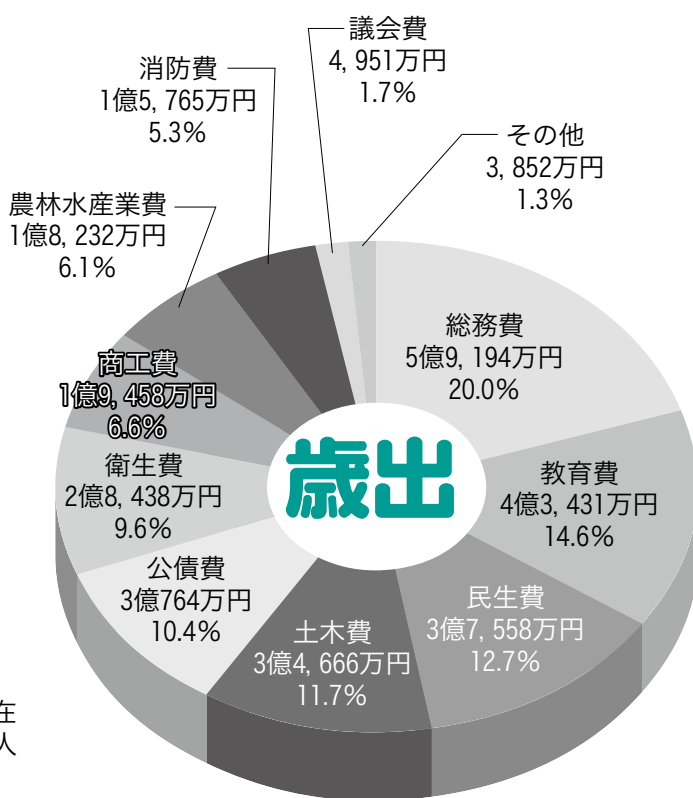
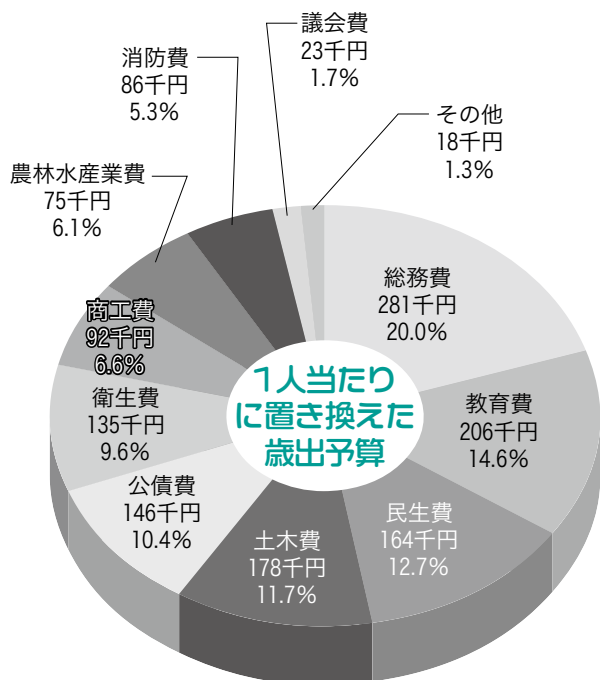
凍結7事業

町営住宅建設事業や小型除雪機修繕事業など7事業(凍結7事業Ⅱ5頁参照)については、議会との協議が整い次第実行に移される予定でしたが、町長の3月定例会後の行動に対する不信任感から6月定例会以降での協議となりました。(7頁の抗議文参照)



町民1人当たり
1,404千円の予算
(一般会計)

平成30年度一般会計
29億6,3



平成30年4月1日現在
(外国人含む)2,110人

主な投資的事業

事業名	事業費
川口駅前線消雪設備整備事業	6,600万円
除雪機購入事業	2,200万円
町道西中井線道路改良事業	2,000万円
林道大川入線改良事業	1,600万円
消防無線デジタル化改修事業	1,000万円
4条刈りコンバイン購入事業(※)	700万円
自然教育村会館修繕事業(※)	890万円
町営住宅建設事業(※)	4,581万円

(※):凍結事業

平成30年度特別会計予算(当初)

特別会計名	平成30年度 当初予算	前年度比 増減額
国民健康保険事業(医療費等)	3億3,355万円	△5,359万円
国民健康保険施設(診療所運営)	1億5,492万円	△1,947万円
介護保険	5億8,659万円	2,297万円
後期高齢者医療	4,774万円	13万円
簡易水道事業	2億4,262万円	△1,344万円
農業集落排水事業(田沢地区)	389万円	△45万円
特定地域生活排水処理事業(合併処理浄化槽)	1億1,495万円	△2,106万円
特定環境保全公共下水道事業(川口地区公共下水道事業)	3,932万円	△68万円

財源補てん的な基金の残額

※平成29年度末(当初予算作成時見込み)

- ① 財政調整基金 11億4,922万円
- ② 公共施設整備基金 3億7,647万円
- ③ 電源立地地域対策交付金維持補修基金 156.8万円

●当初予算（議案審議）

基金の取り崩し多い どう感じる 年々厳しくなる

問 財政調整基金が1億5000万円、公共施設整備基金が8000万円、電源立地補修基金が1100万円と、財源補填的な繰り入れがされている。平成30年度当初予算編成に当たり、どう感じたか。

答 総務課長 「年々厳しくなっていく」というのが実情です。今後、「起債の額」も「起債の償還額（返済）」も増えてきますので、益々苦しくなっている状況です。来年度以降に向けて、行財政の見直し等も真剣に取り組まなければならぬと感じました。

基金の残額 将来の見通しは 3年とは何か

問 基金について、将来的な見通しをどのように

考えているか。

答 総務課長 財政の将来的な見通しですが、将来的な負担を少なくするように、現在借りる金額をなるべく抑えるようにしています。財政調整基金と公共施設整備基金、それから減債基金等合わせて、今18億円くらいはあるんですが、将来的には15億円ぐらいでの推移でもつていきたいと考えています。単純に考えますと、あと3年くらいは何とか基金を取り崩して予算を組めるような状況ですが、その後については、だんだん苦しくなってくると思っています。

800万円 トイレ改修 費用対効果は

問 自然教育村会館、5万2000円の収入で800万円のトイレ改修。費用対効果の面から、どうか。財政が大変厳しいと

総務課長が話されたが。

答 復興観光課長 執行部としては必要最小限度の改修にとどめ、せっかくあるものですので、利活用を図っていききたいと考えています。

答 町長 これまで教育村会館は一般に都会の子供たちを中心として招聘して山村体験をさせています。これは、相当数営業活動を行えば、それなりのニーズはあると考えているんですが、残念ながら、今のところ、トイレの改修、これが前提条件のような感じになっていきます。事業をやることに

よって携わる方たちが大勢いらつしやいます。その方たちに対して、一事業当たり70万円から100万円の事業になります。「5万2000円の収入に800万もかけるのか」という疑問も湧くかもしれませんが、そうではなくて、これから先、金山町に一番合った事業、体験学習をやるための一つの拠点だというふうに考えていたければ幸いです。

空き家 モデル地区調査 これから地区選定

問 モデル地区調査280万円で、金山町のこの地区をイメージしているのか。

答 復興観光課長 想定はありますが、関係者の方もおられますし、交渉はこれからですので、具体的な地区について明言はできないということでご了承いただきたいと思っています。

問 280万円の費用をかけてモデル地区を調査するわけだから、なぜ公

にできないのか説明してください。

答 町長 空き家というのは当然のことながら所有者がいらっしゃる。その所有者との交渉から始めなきゃいけない。そういうものが成り立っていないければこの事業は前に進めないということですから、先ほど課長から申し上げましたが、今どこだということじゃなくて、二三想定はしていますが、所有者とこれから交渉していかねければならないと思っています。

除雪機修繕 積立金バラバラ 再検討しては

問 集落によって利用状況も、利用方法も、そして集落内での料金、積立金もバラバラ。除雪機の修繕補助をするからには、この地区はこれだけ積立金があるから補助しなくてもいいとか、ここは一生懸命やっているが積立金がないから困った、急な場合だから助成するんだと、これ

では説明つかないと思う。片一方は安くやって稼働したために修理費の積み立てができなかった。一方の集落ではちゃんと万が一を想定した積立金、それを稼働時間の料金に加えるがら対応されている集落もあると思います。そういう内容を踏まえた中で検討していただきたい。

答 住民課長 各集落の状況をよく把握した上で慎重に対応していきたいと思っています。



▲「共助」で支えあう除雪対策

健康ポイント 20ポイントで 5000円の商品券

問 健康ポイント報償7万5000円。どのよう

なものなのか。

答 住民課長 まず、はじめに健康づくり活動団体として登録をしてもらいます。具体的には、元気でまっせ体操、いきいき生活倶楽部、ランニングクラブ、バレーボールなどの各種体育グループにまず登録をもらう。次に、その団体の会員にカードを配り、何らかの健康づくりの活動をしたらスタンプを押す。そのスタンプが20ポイントたまったら、「健康づくりやりましたね」ということで、町から500円分の商品券を出すという内容です。

町営住宅 どこに、どの様に 建てるの

問 新たな町営住宅の建設は行わない方針だと理解していた。今年度、4戸の準町営住宅(空き家活用)を建設した経過があるわけだが。

答 建設課長 新築の住宅は当面はつくりたくないという考えであります。東



▲町営住宅建設候補地の「分譲地」

日本大震災以降、資材や労務費の単価が大変高くなり、住宅建設コストが高いうことで色々ご意見いただきました。新築は当面はつくりたくない。ただ、住宅は必要なので、コスト縮減を図る中で準町営住宅(空き家を利用した住宅)や、応急仮設住宅を使いながら住宅建設をしていくということとで、施策の転換ということとは考えていません。**問** 建設場所をどこに考えているのか。**答 建設課長** 4戸をつくるに当たって2000㎡から3000㎡ぐらいの面積が必要です。川口地区は用地がないという

凍結7事業

町長から「平成30年度の一般会計予算につきまして、まだ議論の余地があるというようなことで、次の項目について、予算の一時凍結をさせていただきたいというふうに考えておりますのでご了解をいただきたいと思います」と発言があり、特別委員会で協議することになりました。

●凍結事業名

- ①空家利活用モデル地区調査事業
- ②小型除雪機修繕事業
- ③クサムシ駆除事業
- ④農林水産物活用生産・加工施設等支援事業
- ⑤4条刈りコンバイン購入事業
- ⑥自然教育村会館修繕事業
- ⑦町営住宅建設事業

ことで中川と横田で検討し、経済的に横田の松木平にある宅地の分譲地の部分が1区画大体350㎡ぐらいあり、それを30年度は3区画購入予定で、横田を考えています。**問** 住宅の青写真を見せられましたが、雪国にとっては軒下が低い。**答** 建物の構造でありますが、木造の平家建てに

なっています。**問** どれぐらいの基礎を考えているか。車庫等については。**答 建設課長** 基礎高は50から60cmを予定しています。今回の計画の中では車庫の部分が入っていません。当面購入した土地の空き地を路上駐車場ということで考えています。

●特別会計 (議案審議)

歯科診療 実績が上がらない

問 歯科外来収入が減収の85万9000円とかかなり減っていますが、これは、月何人ぐらいで、1日何人ぐらいの予算なのか。

答 住民課長 歯科外来収入の現年度分として、今年度は240万円ということですが。歯科外来は、内科の外来も同様ですが、平成29年度の実績に基づいての計上です。平成29年度の患者数、歯科外来は、1月末現在の実績ですが、1日平均1・22人です。28年度が2・01です。ので、前年度に比べると4割近くの減ということですが。

い事業で、社会福祉協議会へ委託することですが、これはどういった内容で認知症対策に取り組んでいたのか。**答 住民課長** これは、社会福祉協議会に支援推進員を置くというものです。認知症対策は、非常に重要な問題としてクロージアアップされています。金山町としても、町の保健師と関係事業所が連携をとり合いながら進めていく内容で、平成30年度、社会福祉協議会に新しい人材を置いて、その方と協力しながら進めたいというところでの予算化です。

介護保険 認知症支援 社会福祉協議会で

問 認知症総合支援事業、認知症地域支援推進員192万7000円。新し



▲社会福祉協議会のみなさん

■議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決 結果	栗城 康太郎	青柳 ヨシ子	加藤 賢享	黒川 廣志	奥 高伸	横田 正敏	高橋 信彦	五ノ井 義一	馬場 清次
■第1回臨時会 平成30年2月20日開催										
平成29年度金山町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■第2回定例会(3月定例会) 平成30年3月開催										
平成30年度金山町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町学生寮設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町営グラウンド・ゴルフ場設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町営バス条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町課設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

件 名	議決 結果	栗城 康太郎	青柳 ヨシ子	加藤 賢享	黒川 廣志	奥 高伸	横田 正敏	高橋 信彦	五ノ井 義一	馬場 清次
金山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
金山町道路占用料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町町営住宅条例及び金山町定住促進住宅条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

▶3月定例会後の町長の行動に対して抗議しました

2月20日 第1回臨時会

臨時会では、豪雪による除雪経費の増額（約7000万円）が審議され可決されました。内容は、社会福祉協議会で実施している高齢者等の除雪事業50万円増。町道等の除雪経費6860万円増です。



新宮市議会が来町 災害対応などを調査

和歌山県新宮市議会の熊野川濁水・治水関連対策特別委員会の5名と議長及び副市長等が、「委員会調査」のため4月11日に金山町を訪れました。金山町では、「豪雨災害からの安全確保に向けた河川管理者及び電力事業者に対する要望活動」について調査されました。

抗議文

3月定例会において提案された、平成30年度当初予算の「凍結7事業」について私たち議員は、当局の「説明不足」で判断がつかず、特別委員会で今後議論していこうということになった経過については、町長もご存知のことと思います。

しかしながら、過日町長自ら発行された「町民の皆様へ」の記述の中で、「実施は決定しているが議会の同意が得られるまで時間がかかる」とも受け取れる表現は、議会及び特別委員会を無視した内容であり町民に無用な誤解を与えかねません。「凍結7事業」は実施できるかどうかも含め未決定事項であります。

私たち議員は、速やかに「凍結7事業」の審議を進めようと4月5日に特別委員会を開催したところですが、今回の案件があり、審議がストップした状態です。町と議会との信頼関係は踏みにじられました。ここに強く抗議します。

平成30年4月6日

金山町長 長谷川盛雄 様

金山町議会
議長 五ノ井 清二

観光施設運営整備研究特別委員会
委員長 馬場 清次
副委員長 高橋 信彦



4月30日に運行された「只見線団体（貸切）列車」
前2両：観光トロッコ開運福袋列車
後2両：プライダルトレイン

五ノ井義一議員の 一般質問



JR只見線の今後について

県や沿線自治体と連携して利活用に取り組んでいく

問 只見線の今後は。

答 町長 平成29年6月に只見線の鉄道での復旧が正式に決まってから、只見線利活用の機運を盛り上げるため、町内での只見線シンポジウムの開催、只見線復旧記念花火大会への協力、只見線復旧記念スペシャルコンサートの開催、会津中川駅周辺の

雪原にろうそくをともす

イベントの協力など、官民連携して様々な取り組みを行っていきます。今月末に策定される只見線利活用計画を踏まえて2021年度の再開通を見据えて、県や沿線自治体と連携して只見線の利活用に

取り組んでいきます。町独自の取り組みとしては、

来年度から只見線の景観

を阻害する雑木伐採のための調査や、沿線自治体と連携した観光客の受け入れ体制の強化などに取り組んでいきます。

問 29年度からJR只見線の一部工事はスタートしていますが、肝心の鉄道軌道整備法の現状はどうなのか、知る限りの情報

を我々に伝えてください。

答 町長 今、国会、ご承知のように働き方改革、あるいは森友学園の問題などが、様々な懸案事項が目白押しで、鉄道軌道整備法の議員立法が提案できない状況にありま

中で、菅家一郎議員が、「鉄

道軌道整備法をこの国会に何としても提案する、しなければならぬ」と固い決意でおっしゃっていましたので、大変心強く感じました。この通常国会は相当長期にわたるものですから、必ずこの国会内では成立するものと私は確信しています。

町内交通の見直しと県や近隣町村との連携は

実現に向けて奔走している

問 県議会では会津地方

で鉄道駅と観光地などを結ぶバス路線を新たに設けて二次交通を強化する議論がなされている。会津鉄道の会津田島駅とJR只見線の只見駅さらに2021年度的全線開通を目指す只見線の二次交通の強化として、会津若松から三島町への直行バス

の運行なども議論されて

いる。さらには、道の駅などを駐車場にして車をとめて田子倉ダムなどの観光地までバスやデマンドタクシーを使うパークアンドライドという取り組みの実証に入ろうとしているが、金山町も乗りおくれなために、町長はどんな施策をお持ちなのか。

答 町長 金山町単独で

の広域交通網は中々難しいということもあり、県議会に提案された二次交通の新年度の取り組みですが、私は前から、田島、昭和、金山という、この路線をぜひとも県の路線網に加えてもらいたいという要望活動を常々行ってきました。新聞では、そこ

が除かれていましたので、

再度、県に出向き、前からお願ひしている田島、昭和、金山の路線をぜひとも加えていただきたいと話をしてきました。新聞は、いわば構想の段階で決定ではありません。これから実現に向けて奔走しなければならぬと考えています。



「踏切」の改良が課題



奥高伸議員の

一般質問

林道大川入線改良事業の計画と概要は

どうしたらできるかを考える

問 平成30年度当初予算に越川地区の林道大川入線改良事業の測量・設計の予算が計上された、林道改良事業の概要を伺う。

問① 長年停滞してきた林業振興事業が前進した要因は何か。

答 町長 風穴を開けるきっかけとなったのは、吉野復興大臣の一言だった

と私は考えています。「福島県の復興、これをどうやって前に進めるか」という力強い発言。復興予算を活用してもいいんじゃないかという話もありましたので、早速、県にも相談し上げながら、何とかこの状況まで来ることができたと考えています。

問② 大川入線林道改良

事業には、J R只見線を越えるという大きな阻害要因があった。解決できるのか。

答 町長 今、只見線の復旧工事が始まるということもあり、この機会に町内の懸案の踏切を少しでも解消できないかと。できない理由を並べるのではなく、どうしたらできるかということを考え

れば、私は道は開けると考えています。

問③ 万が一計画ルートでの林道改良が難しい場合ルート変更はあるのか。

答 建設課長 この事業の採択はJ R第2越川の踏切(現状2m)を、3m以上の幅に拡幅するというのが前提条件になります。そして道路管理者が行う踏切道の拡幅の場合にJ Rでは踏切の統廃合が条件となります。地区に対して「第3越川踏切を廃止していただきたい」ということを、区長さん始め役員の方に説明を行っていきます。万が一の場合はルートを変更しながら事業を進めたいと考えています。

癒しの森整備事業の概要は

今までの歩道を維持する程度にとどめる

問 大岐地区の癒しの森

遊歩道整備事業が第四次金山町振興計画(平成30年度から32年度)の実施計画にあげられている。事業の概要について伺う。

答 町長 この事業に関

しては、そのとおりです。なお、延長の長いコースが必要だという方も多分中にはいらつしやると思いますが、今までの歩道を維持するという程度にとどめたいと考えています。

問② 既存のコースは、長年利用されてきた。当然接点はでてくる。大岐貯水池では、土砂搬入事業が行わ

れている。安全対策は。

答 建設課長 今年の5月ぐらいから浚渫土砂の運搬が始まりますので、その前に山入の1、2の行政区と横田地域を考える会に土砂運搬計画ができた段階で説明していきたいと思います。ただ、盛土工事が始まりますと、その区間が工事区間にな

りますので、安全を確保する上で、今、おっしゃられたトレッキングコースが地区の山道としての機能を果たすのかどうかも電源開発(株)と相談しながら、区の要望をなるべく取り入れるような形で進めていきたいと思っています。



大塩地区の消雪道路

馬場清次議員の 一般質問



一次産業の振興策は

それぞれ取組んでいく

問 高齢化と共に一次産業に取組む方にとって、水路・農道の維持管理、近年では地主不在の農地対策と問題が山積している。

問① 農業団体・受託経営者と共に小規模農家へも対策が必要と考えます。

答 産業課長 支援策として、土地の集約を図った部分に農業支援の事業で、田んぼについては10a

当たり30000円の補助を行っています。これについては、29年度で終わる予定でしたが、30年度からの米生産改革から様子を見

るということで、引き続き30年度も支出していく計画となっています。一昨年から、大型農業機械の購入費補助も行っています。

問② 特産品の振興、現状と対策は。

答 町長 今年度は農作

物の生育状況が全般的に悪く、赤カボチャについては検査数量が約1万2300個、エゴマの原料納入実績は約490キロとい

う実績です。今後の対策としては、赤カボチャは生産者協議会が中心となり、各地区の土壤調査を実施したので、30年度は土壤調査の結果を踏まえた施肥計画に基づいた肥料の配布に取り組み予定です。エ

ゴマは、農業団体を核として、作付面積の拡大に向けて、耕作地の調査や栽培者への作付拡大の呼びかけに取り組んでいきます。

問③ 農産物の加工施設整備、運営は。

答 町長 今年度、加工場整備の調査設計を行い、平成30年度の整備に向けて財源の確保を進めてきましたが、加工場整備の事業費が約7000万円程

度となることや、補助事業の見込みがつかないことから、平成30年度の整備は見送ることとしました。平成30年度は、農産物の生産、加工、販売の具体的な数値をさらに精査した計画づくりを行っていき

たいと考えています。現状では、費用対効果の点において事業費が高過ぎるため、さらに検討を重ねることが必要と判断しました。

国道の消雪対策を

県に対し以前より要望してきた

問 豪雪時の国道消雪対応について。

問① 運転時間の変更(終日)

答 町長 町内には消雪施設が7施設あります。その中に、福島県内で1カ所、24時間消雪可能な川口地区があります。国道400号が急勾配で危険であり、

安全確保のため24時間消雪可能となっています。他の6施設は、融雪用電力契約により、毎日午後4時から午後9時までの時間帯のうち、2時間消雪を止めなければなりません。電気料金を低減するための措置であり、運転時間の変更は県に対し以前より要望

してきましたが、「管理経費の都合上、困難である」との回答でした。2時間消雪をとめる時間帯の変更は可能かと思われます。

問② 水量等の対策(地区民の要望に沿い)。

答 町長 消雪の維持管理(水量調整など)は町が委託されていますので、施

設のある行政区長と現地確認等を行い、効果的に消雪が行えるよう努めます。

問③ 機械除雪を含め道路管理者への要望を。

答 建設課長 実際利用されている住民、行政区長から色々な意見を聞きながら、県に要望していきたいと思っています。

町長の政治姿勢について

軽率な行為であった



問 町長の政治姿勢について伺う。

問① 町長は平成24年NPO法人あそびのがつこの事務責任者として福島県の補助金(20万円)で森林ボランティア団体支援活動を行った際、虚偽の報告書(事業実施状況写真綴り)を提出した。なぜか。

答 町長 大変軽率な行為であったと言わざるを得ません。そのため、ご当

人にも不快な思いや、補助金交付者であります

が、必要は認めないと拒否された。その理由は。

県そして金山町に対して

答 町長 この法人は私

もご迷惑をおかけしたこ

個人のものでもなく、会員

とは、まことに申しわけな

全ての人のご意見を聞く

く思っております。ただ、

べきとの判断から、理事長

虚偽ということではなく、

に臨時総会の開催をお願い

あくまでも軽率な行為で

いたしました。総会は、

あったと考えております。

10名中9名の出席を得て

問② 昨年三月、この事

業について開示請求した

開催されました。その席

上、黒川議員ほかの方々の

申し出をつぶさに説明を

した結果、「NPO法人は

あくまでも民間の団体で

あり、書類の開示の必要

性はない」との意見で一致

したところであり、その旨

を書面でご通知申し上げ

た次第であります。

問③ 森林環境税という

税金を財源とした補助事

業だ、新聞社の報道もあり、

ないと考えております。

昨年7月18日豪雨時の滝ダム操作に問題はなかったのか

問題があったとは考えていない

問 豪雨時の滝ダム操作に問題はなかったのか伺う。

町で、町内全域に避難指示が出た豪雨によるものです。滝ダムの観測では流

(株)に対し、金山町、金山町議会に説明させる場を設けるべきだ。

問① 当時のダム操作につ

いて国交省から「洪水時以外に常時満水位を超えた事

答 町長 電源開発から

象が発生している」と指摘

が満水位を約90cm上回っ

流域外での降雨状況等も

された。どのような事象か。

たものです。このことによ

量予測の精度を上げるこ

答 町長 昨年の7月18

日の深夜から午前中にか

とや、放流開始の時間を

けて、主に只見町の叶津川

の過で、主として看

電源開発から示された只

心に雨が降りました。只見

安全対策について電源開発

見川流域の安全・安心に

向けた取り組みについて

の履行を求めることが最

も重要だと考えておりま

す。来年度からは、台船を

使った本格的な浚渫作業

が始まります。また、滝調

整池堆砂対策連絡協議会

の場で意見を交わしてお

りますので、この件につ

きましては説明会の必要

性はないと考えております。

本格的な浚渫作業が始まる滝ダム



金山町振興計画について

少しずつ進めている



栗城康太郎議員の 一般質問



新設になった川口駅前トイレ

問Ⅰ 人材の確保と育成について。地域の産業や資源を有効活用して経済の発展を図るためには、有能な人材の育成が重要であると考えます。

問① 平成30年度に整備予定の農産物加工施設に、専門的な知識を持った専従の職員を配置する考えはありますか。

答 町長 当面は外部の

専門家のアドバイザーを受けることなども含め検討し、将来的な配置を展望したいと考えています。

問② 地域文化を学習や観光、交流などに活用するため、案内人の養成や学芸員を配置する考えはありますか。

答 町長 只見線が開通するときに、金山町としてPRする場所を町内に3カ所ほどつくる、そこを周遊する、そこに案内人を配置する、そんなことが必要になってくると考えます。議員のおっしゃることは全くもつともだと思っ

ています。今、少しずつではありますが人材育成、今年

『観光は、交流を進める上で、の最も重要な柱として、観光客を増やすための努力をしなければなりません』としています。

問① 観光行政についての検討結果は。

答 町長 交流人口の拡大のため、町内の地域ごとの特色、特徴を生かし、空き家の利活用と絡めた集落再生をモデル的に取り組んでいきたいと考えています。イベントのあり方については、イベントは地域文化の継承という側面もあり

ますので、ソバなどの郷土料理を提供しています。過日開催された会津かねやま雪まつりでは、郷土料理である「トチ餅」の提供が復活しました。今

計画を実施しています。川口駅前に、金山町全域の観光案内板と、川口地区に限定した案内板を2つつくりたいと考えています。トイレも完成しますので、「駅におりたらすぐに公衆トイレがここにあるな」というのがわかるデザイン

の看板を設置する予定です。金山町全体の案内板には金山町でど

うしても行っていただきたい場所をピンポイントで図にあらわしますから、その場に行ったら、今度はその場の詳細な看板をつくるという考え方で進めていきたいと思っています。

問③ 只見線利活用の検討結果は。

答 町長 平成29年度に作成した炭酸温泉PR動画を活用し、さらなる情報発信を行います。来年度は川口駅前に無散水消雪の整備を行っていく予定です。さらに、只見線

来町した観光客に対する二次交通として乗り合いタクシーの拡充や、只見線の景観を阻害する雑木伐採のための調査や、沿線自治体と連携した観光客受け入れ体制強化に取り組んでいきます。

問④ 住宅宿泊事業についての町の考えかたは。

答 町長 「民泊をやってみよう」という町民の後押しをするため、今後の町民向けの民泊セミナーの開催や、手続面での支援をしていきたいと考えています。なお、空き家を活用した地域再生の成功事例も報告されており、今後の参考として、専門家のご意見を伺うことも有効ではないかと考えています。



浚渫用船着場の工事が
行われている越川地区



高橋信彦議員の

一般質問

只見川圏域河川整備計画及び、堆積土砂について

今ある企業に頑張っていただきたい

問 平成23年7月の豪雨災害以後、ようやく只見川の河川整備計画が動き始めました。電気事業者による只見川の浚渫作業は、今後も継続的に続くものと思われます。山を守り、水を守り、川を守る一連の作業を、一貫した事業として金山町に定着させるよう、官民を挙げて取

り組む考えはないか伺う。

答 町長 浚渫事業だけでなく、金山町大変な土木工事ラッシュであると思っております。河川整備計画、浚渫、バイパス工事、トンネル工事、あるいは橋梁の工事だとか、様々な事業が目白押しです。今、働く

場所があります。建設業も本当に人手不足で困っています。そういうところは幾らでも人は欲しいんだけれども、なかなか来てくれないというのが現状です。これから新しい仕事をつくるということも必要かもしれません、それ

にも増して、今ある企業に積極的に働いていただくことが必要だと思います。**問** 事業を起こそうとするとき一番大きな問題になってくるのは、既得権益者との調整かなというように思います。当然、業者同士の話し合いでは、

力関係もあり難航するでしょうから、そういった場合には行政が調整役となり、電気事業者あるいは協力会社も交え、若者にとって魅力ある職場づくりというものをぜひともつくっていただきたいと、そのように思います。

「再生可能エネルギー計画策定事業」と町の現状について

可能性を探っていきます

問 会津地方の豊かな森林資源を活用する機運が高まっています。町内の共有林地等の遊休山林を資源化し、新たな森林政策を図る好機と思われるが町の考えを伺う。

答 町長 会津13市町村と連携し、林業及び木材関連産業の川上から川下までの循環型地域経済の構築に向けて取り組んでいます。今年度は森林資源活用実現計画策定を

行っていますので、主にバイオマスエネルギーを中心とした調査委託をしたと考えています。森林資源の活用について、町の想定は、双方を想定しています。当町には大規模な熱需要施設がないことから、採算性を考えると、大きなバイオマスボイラーの導入は難しいと思われる。しかし、新たな施設整備による活用や、まきボイラー等の小規模な熱供給

システムなどの導入の可能性を踏まえて検討していきたいと考えています。**問** 町内の各集落、個々に共有林があるかと思いますが、利用されることはなく伐採時期を過ぎた材木が眠っているわけですか。私の集落においても、ただ税金を払うために所有している山林が約400町歩あります。将来にわたり維持していくのは非常に困難であり、大

きな問題となっています。

答 産業課長 供給側については、森林資源の活用について、ようやく少し動き出したところで、13市町村の中で、全体の事業が流れるようになる、そういった数量が必要になってくるかというのがわかってくるかと思っていますので、それにあわせて森林の活用を考えていきたいと思っています。

健康長寿日本一の町づくりの実現を

地道に息の長い取組みをする



横田正敏議員の 一般質問



「からだ楽々教室(ゆうゆう館にて)」
まずは、準備運動から

問① 健康長寿地域として注目される人々の生活は、特別な生活ではなく、日常生活そのものが健康につながっている。健康長寿日本一の町を実現するために、謙虚に先進地に学ぶ姿勢が大切でないか。

答 町長 健康長寿と言われる地域では、そのためのかじ取りを長期間にわたって地道に行ってきた

問② 健康長寿日本一の町づくりは、高齢者の福祉という範囲(考え方)で実現できるほど単純なものではない。健康長寿日本一の町を実現させるためには、町民の健康づくりが基盤であり、それは生涯にわたって、各年代での健康づくりを具体化し、実践した結果、健康長寿日本一の町が実現できるものと考えているがどうか伺う。

答 町長 町民の健康づくりを生涯にわたっての問題と捉えたとき、大きく3つの年代に分けての取り組みが考えられます。まず第一は、母子に対する取り組みです。乳幼児期から学齢期までですが、ここには学校保健も含まれます。続いて、成人に対する取り組みです。おおむね20代から60代までの、いわゆる現役世代と言われる方々が対象となります。最後に、高齢者に対する取り組みです。町が生涯にわたって町民の健康づくりを進めていく上で重要なものは、各部署の情報の共有であると思います。乳幼児の情報を持つ町の保健部局が、その情報を保育所につなぎ、学校につなぎ、さらには成人、高齢者に至るまで、担当するそれぞれの部局が情報を共有することで、生涯にわたる町民の健康づくりが実現できる

問③ 健康づくりを進めるうえで、教育の役割も大きい。学校教育、家庭教育、社会教育、生涯学習の役割をどう考え対応するのか伺う。

答 教育長 学校教育において健康教育は大きな柱の一つであり、生涯にわたる健康教育の最も基礎になる大切な役割を学校教育が担っていると考えています。体育、保健体育はもとより、家庭科、理科、道徳等、さらには学級指導、保健指導、給食指導でも取り上げ、学校教育全体を通して健康教育に取り組んでいます。特に、各学校では体力の向上、肥満防止、食育に力を入れています。また、基礎的な生活習慣の育成として、早起、朝ご飯運動を進めています。これらは、どれも家庭との連携が大切でありますので、家庭への

協力依頼と啓蒙を図っています。次に、社会教育、生涯学習の充実、高齢化が進行する中、生きがいや潤いのある生活、健康寿命の延伸を図る上で重要な施策と考えています。日常の健康管理や疾病予防、食生活の管理の面では、今後も病院からの出前講座等を推進します。生涯スポーツでは、気軽にスポーツやレクリエーションに親しむ各種教室等を体育協会やスポーツ推進委員と連携して進めていきます。さらに、芸術・文化事業は、高齢者を含めた町民の生きがいづくりに重要な施策であり、各種文化イベント、文化協会、こまどり学級等のサークル活動の推進を今後とも図ってきたいと考えています。

福祉灯油の実現について

100円を超えたら考える



問 65歳以上の非課税世帯に一世帯一万円の福祉灯油を実現してください。

答 町長 現在、町が業者と契約している灯油の

価格は1ℓ当たり90円です。灯油価格が急騰している状況とはいえないという判断から、灯油券の配付は実施していません。福祉灯油については、1ℓ当たりの価格が100円を超え、住民の生活に重

大な影響を及ぼすとみなされたときに、臨時的に実施する考え方ですので、価格の動向を注視しながら対応していきます。

問 私が議員になった当初から福祉灯油を求めてきました。「1ℓ当たり100円になったら考える」ということですが、これはやるということでしょうか、うけれども、いつ決められたんですか。

答 住民課長 前回12月

問 私議員になった当初から福祉灯油を求めてきました。「1ℓ当たり100円になったら考える」ということですが、これはやるということでしょうか、うけれども、いつ決められたんですか。

問 「100円が妥当だ」とは全然思いません。町長は、寒さ何もわからないようなお宅で過ごしな

答 町長 弱者に対する思いやりが非常に大事だと思う。それが日本人の心だと私は思っています。だからといって、全てが要求どおり出せるという

問 一定の線を引くと言われるんだしたら、ぜひ80円にしてください。

答 住民課長 参考までに申し上げますが、平成19年度と20年度に実施したときの灯油価格(平成20年9月8日)は、1ℓ当たり126・4円でした。

避難所の管理は出来ているか

出来る対応はとっている

問 東日本大震災から7年が経とうとしています。避難所の点検・管理は適切になされているか。

答 町長 町は「避難所」として16カ所「避難場所」として24カ所を指定しています。金山町地域防災計画の中で定めています

が、避難所はあらかじめ指定し周知をしている建物です。学校や公民館、体育館等がこれに当たりま

します。点検管理ですが、避難所は、通常行政財産、教育財産ですので、各担当部署において管理をしています。災害時の非常用品は、建物とは別に防災倉庫に備蓄する計画を進めています。避難場所の管理は、地区に任せて

今年度の灯油価格は、どうなるだろうか

況により安全を確認された段階で避難所に格上げすることができ、建物で、地区集会所等が該当

います。町は、災害時に備え、非常用発電機、投光器、ファクス、衛星携帯電話などを各地区に配置し、災害に強いまちづくりを進めています。

う、これは町の財政の問題もありますし、そんなことを考えればやはり一定の線は引かなければならないという気持ちです。

平成30年 5月15日



「季節は巡る」

毎日のように降り続いた雪は例年にも増しての大雪となり、人々の暮らしに大きく、そして重く押し掛かりました。特に高齢者の家庭において、その厳しさは想像以上に余りあるものでした。

その酷寒の長い冬も季節の訪れと共に安らぎ、背丈を有に越していた積雪も日々少なくなり、ふきのとうや福寿草の輝くような生命の息吹を感じながら、人々の生活も明るさや活力が沸きあがってきます。

反面、雪解けと共に多くの住人のいない空き家の朽ち果てた姿も目立つようになって来ました。高齢化、過疎に歯止めがかからない社会で増え続ける空き家の対策は、これからの行政の最も重要な施策・対策の一つになるものと思われれます。集落の背景には手入れされた豊かな里山が広がり家の廻りには黄金色に輝く水田が…。

これが地形や自然条件をうまく利用し、安全で住みやすい地域をつくり、その中で長い間、生産と生活が維持続けられてきた先人の築き上げてきた循環型、再生可能型の地域社会ではなかったのか、そんな日本の先祖から脈々と受け継がれてきた文化、地域社会等、日本の原風景と言われるものの多くが消えていく。

シンクタンク日本創生会議の提言した「将来の日本の896もの市町村が消えていく危機にある」として示した「消滅可能性都市」の一覧表が全国、特に地方に衝撃を与えたのは三年ほど前のことである。

少子高齢化、急速に進む高齢化、過疎の中で「単身高齢化の時代」を迎えるといわれている今、日々地域内の空き家が増えていくのを目にしながら地域社会の存続とは何か？ 模索の日々が続く！

金山の超遅い春も花の季節がやってきて、田畑での活動にも活気が見られるようになってきます。この議会だよりが発行される頃には、田植えも始まる事と思います。5月6月には輝く緑の世界となり、9月には黄金色の稲穂が穂ることでしょう。

社会のへんせんに変わりなく「季節は巡る！」

(奥 高伸)

吉野復興大臣に要望 奥会津五町村の議長

3月27～28日に奥会津五町村議会議長連絡協議会(会長:金山町議会議長 五ノ井清二)で、只見線の早期全線復旧と財政支援について、福島県選出国會議員に対して要望活動を行ないました。28日には、復興庁において吉野正芳復興大臣に、同要望を実施しました。吉野大臣からは、復興庁で応援できる事業について話を伺いました。



ごあんない

次回の定例会は、6月14日ごろ開会の予定です。
一般質問は6月18日ごろとなります。
お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井清二
〔編集委員〕 委員長 馬場 清次
副委員長 黒川 廣志
委員 栗城康太郎
〃 青柳ヨシ子
〃 加藤 賢享
次回、金山町議会だより第202号は、8月上旬ごろ発行の予定です。